

曾於で建築技術者研修会

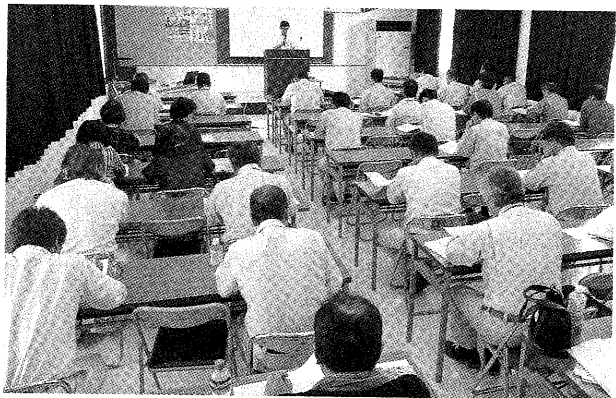
法令、積算基準学ぶ

県、建築協会

県と県建築協会（中村明人会長）主催の2017年度建築関係技術者研修会が25日、曾於市の曾於建設会館であった。建築関連の技術者ら約45人が参加。建築関係法令や積算基準などについて理解を深めた。

研修会では、最近の建築・住宅行政の動向や住宅関係の諸制度、建築・電気設備・

メモを取るなど熱心に聴講する参加者＝曾於市の曾於建設会館で



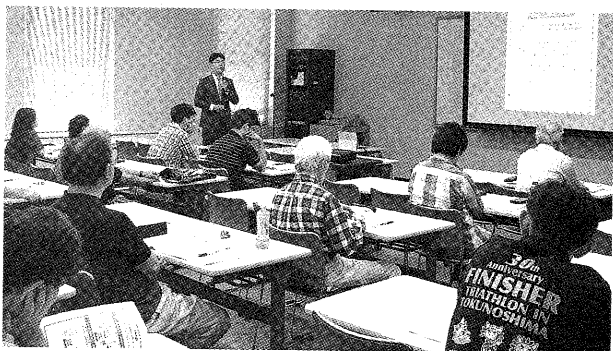
機械設備の16年度建築工事等の検査結果、積算基準などについて県担当者から説明があった。このうち、県大隅地域振興局建設部土木建築課の當房貴広技術主幹兼係長は、建築物省エネ法の改正点など建築関係法令

の概要を解説。また、県土木部の新保高志工事監査監が2016年度建築工事の検査結果等を説明

相続学校 in 鹿児島

相続テーマに講演・相談会 各過程で専門家を

相続学校 in 鹿児島（事務局・西田友博税理士事務所）は22日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで相続に関する無料の講演・相談会を開いた。参加者は真剣な表情で講演に耳を傾けたほか、それぞれの専門士に相談を行った。



専門の見地から説明があった講演。鹿児島市のかごしま県民交流センターで

良好な建築物の施工に向け、さらなる技術の研さんに努めてほしい」と呼び掛けた。

過程において、それぞれの専門家を「探す必要がある」など、ポイントを挙げてアドバイスをした。

同校の無料講演は、今後も定期的に行う予定だ。講師は次の通り。

高橋壽美夫（相続対策専門士）坂本秀一朗（司法書士）西田友博（税理士）本田貴志（弁護士）迫田圭介（土地家屋調査士）

部豪雨で支援活動



ンティアが不足していることから、青年部が中心となり自主的に活動する

ことを決めた。

霧島市の上床公園で行われた出発式。写真で米徳満同組合理事長が「現地での活躍を期待するが、くれぐれもけがのないよう頑張ってもらいたい」と激励。青年部員6人は、タンブ（2台と軽トラック1台）に小型重機2台を積み込み、甚大な被害を受けた福岡県朝倉市に向けて出発した。

北田代部長は「できる

コンサル大島連絡協

被災地に 義援金

総合技術コンサルタント大島出張所長連絡協議会（平豊和会長、38社）は21日に奄美市を訪れ、九州北部豪雨で被災した地域への支援として義援金を贈呈した。写真。寄託した義援金は、日本赤十字社を通して被災地に送られる。

同協議会は、県内コン

ことは何でもするつもり。被災者が一歩でも前に進めるように応援したい」と話した。

サルタント企業の大島出張所長らで構成する団体。平会長はじめ、塩崎博成副会長、松元龍作事



平会長は「過去に豪雨災害があった奄美市も、全国各地から多大な支援をいただいた。そのときの感謝の気持ちも込めて、被災地の一日も早い復興を願っています」と話した。

義援金を受け取った朝山市長は「市でも義援金箱を設置し、市民へ寄付を募っている。いただいた寄付金は、赤十字社へ届けたい」と感謝の気持ちを表した。

務局長が市役所を訪れ、朝山毅市長に義援金を手渡した。